



## 乳幼児とご家庭について、家庭の養育状況や乳幼児の発達の課題など、気になること、お困りのことはありませんか？

幼稚園・保育所・認定こども園等の依頼に応じ、保育ソーシャルワーカーを派遣し、園・所と家庭・地域との連携・協力を支援する「保育ソーシャルワーカー派遣事業」を実施しています。



Q1 保育ソーシャルワーカーって、どんな人？

A. 社会福祉士等の資格を持ち、家庭の養育状況や乳幼児の発達の課題など、園・所の困りごとをお聞きし、状況を整理して、社会資源を活用しながら、乳幼児とご家庭への支援を一緒に考えます。現在、全県を対象に7名が活動しています。



Q2 費用や利用の上限はあるの？

A. 費用はかかりません。また、利用回数の上限もありません。



Q3 派遣を希望するときは？

A. 保育ソーシャルワーカー派遣依頼書（広島県教育委員会・幼児教育のHPからダウンロード）を提出してください。



Q4 具体的にどんなことをしているの？

- A. 以下のような困りごとへの支援をしています。
- 保護者との関係づくり
  - 家庭の養育状況
  - 家庭の経済状況
  - 保護者の不安な状況
  - 乳幼児への虐待やその疑い
  - 乳幼児の発達上の課題



- ★個別ケースに関する相談  
園・所の先生方からお話をお聞きし、乳幼児の家庭等への働きかけや支援を一緒に考えます。
- ★関係機関との連携の支援  
地域で利用できる関係機関やその役割についてお伝えし、必要に応じて橋渡しをいたします。
- ★制度・サービスの紹介  
相談に応じて、福祉、保健、医療等の制度やサービスをご紹介します。

ご不明な点等ございましたら、乳幼児教育支援センターまでお気軽にご連絡ください。ご依頼お待ちしております！

### 園・所の先生方へ

#### ～慶應義塾大学環境情報学部 今井むつみ教授からのメッセージ～

全国的にコロナ感染が拡大し、これまでの生活がまったく変わってしまいました。皆様も感染の不安と緊張の中で子供たちの教育・保育に全力を傾けてくださっていると思います。

コロナの影響は様々な形で子供たちにも及びます。子供は大人の不安を敏感に感じ取り、自分も不安な気持ちになります。大人がマスクをつけていることは、ことばと知性の発達に重大な影響を与えかねません。コロナ禍で経済的に厳しい家庭も多くなることでしょう。

しかし、コロナウイルスで子供の発達を止めてしまうわけにはいきません。この時期のことばの発達や考える力の発達は、就学後の学習の礎となり、子供の一生を左右します。コロナ禍で学力格差が広がるという心配の声を耳にします。家庭のパソコン環境や通信環境で学力格差が生まれると考える人が多いですが、実は、幼児期に、自ら考え、学ぶことのできる力をつけているかどうか、就学後の学力にもっとも大きな影響を与えるのです。

学ぶ力をつけるためにはことばの力が欠かせません。ことばの力は周りの大人の、たくさんさんの質の良いことばかけで育まれます。家庭環境が厳しいからこそ、今までも増して皆様の役割が大事になります。

子供たちの未来のために、皆様のお力が必要です。感染に気をつけながらも、子供たちが楽しみながら伸び伸びと毎日を過ごし、学ぶことができるよう、ご尽力ください。



今井先生には、広島県乳幼児教育支援センターのアドバイザーボード委員として、本県の様々な取組に関して御指導・御支援をいただいています。

# 3歳未満児が遊びや生活の中で安心して主体性を発揮するために 乳児保育における5つの力の育み事業(令和2年度・令和3年度)

平成29年3月告示の保育所保育指針等では、乳児保育(乳児・1歳以上3歳未満児の保育)の意義が示されました。これを受け、本センターでは、研究開発指定園・所に委託し、育みたい5つの力の育成を意識した乳児保育を実践し、エピソード収集や協議を行うなどしながら、3歳未満児における5つの力(※)が、どのように育まれ、どのように発揮されるのかを明らかにするための研究に取り組んでいます。

※ 乳幼児期に育みたい5つの力:「感じる・気付く力」、「うごく力」、「考える力」、「やりぬく力」、「人とかかわる力」



月に1回、各年齢のエピソードを持ち寄り、その事例から、子供の学びや育ち、育とうとしている育ちの芽を検討し、それを参考にして、次の保育を考える機会にします。



各園にて、公開保育が行われました。公開保育では、それぞれの園の保育における環境構成等の工夫に刺激を受けられ、自園の保育にすぐに取り入れていかれました。

一緒に事業を受けている他園・所の先生方と、保育に関する深い話をするという貴重な機会となったようです。



令和2年12月8日(火)に本事業の連絡会を行い、これまでの取組の中から出てきた課題について話し合いました。その後、広島文教大学 准教授 牧亮太先生、福山市立大学 講師 上山瑠津子先生に、これまでの取組を整理していただき、今後に向けて示唆をいただきました。



## 【研究開発指定園・所】

社会福祉法人青雲福祉会青雲保育園、東広島市立中黒瀬保育所、  
社会福祉法人光生会保育所ひかり学園、社会福祉法人みどり会みどりの森保育園

## NEW 家庭教育支援リーフレット

「遊び」のなかに「学び」がいっぱい!  
第1弾を配付! 1月には第2弾を配付予定!!

子供の発達段階に応じて遊んだり、生活したりしている場面を切り口に、「『遊び』の中に『学び』がある」ことを保護者の方に分かりやすく伝えるために、家庭教育支援リーフレット『遊び』のなかに「学び」がいっぱい!」を作成しました。

資料を通じて、いろいろな場面をテーマに遊びや生活の中に学びがあることをお伝えしていきます。

第1弾として作成したリーフレットの保護者への配付につきましては、御協力ありがとうございました。1月には第2弾の配付を予定しております。その際にはアンケートを併せて実施いたしますので、引き続き御協力の程、よろしくお願ひします。



乳児(0~2歳)シリーズ



①排泄自立編



幼児(3~5歳)シリーズ



①着替え編

↑ ホームページにも掲載しています!

URL: <https://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/oyakokomi/>



【発行元及び連絡先】広島県教育委員会 乳幼児教育支援センター  
〒730-8514 広島市中区基町9-42 広島県教育委員会事務局(東館6階)  
TEL 082(513)4978 FAX 082(212)3331  
ホームページ URL <https://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/kyouiku/youji-index.html>

